



地域に愛される果実  
戸田たちばな

駿河湾越しに富士山を望む戸田地区の高台は、みかんの祖とも言われている日本固有の柑橘「橘」が自生する北限です。寒い冬に実をつけるこのちいさな果実は「戸田たちばな」と呼ばれ、地元の人たちに愛されています。

戸田たちばなは華やかな香りと爽快な酸味が特徴で、すだちのように果汁や皮が料理のアクセントに使われています。また、実と皮を煮詰めて作るジャムは口に広がる香りと奥ゆかしい甘み、そしてほろ苦さのハーモニーがパンやクリームチーズと見事にマッチし、食卓をおいしく彩ってくれます。

戸田たちばなを使ってジャムやお茶などの加工品を作っている監物さんは「毎年、戸田の山の斜面を鮮やかな黄色に染めるたちばなは、冬の訪れを感じさせてくれる身近な存在なんです。昔からこの地域で親しまれているたちばなをもっとたくさんの人に知ってもらえたら嬉しいですね。これからも愛情込めて作るので、ぜひ味わってほしいです」と教えてくれました。

ちいさくて可愛らしい実のなかに地元の人たちの愛情がたっぷりつまっている戸田たちばな。戸田が誇る沼津の宝です。

農林農地課

TEL 055・934・4751